

没後 55 年 藤田嗣治展

FOUJITA in Paris & Villiers-le-Bâcle
会期:2023年9月30日(土)-12月17日(日)



Photographie L. Godart メゾン=アトリエ・フジタ外観

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。茨城県では、観光を推進し地域の活性化を図るため、JR 東日本水戸支社と連携し、2023 年秋(10 月～12 月)に「茨城デスティネーションキャンペーン」(以下 DC)が開催されます。DC は、JR グループ 6 社(JR 北海道・JR 東日本・JR 東海・JR 西日本・JR 四国・JR 九州)と地域(県・市町村・地元観光事業者等)が一体となり、開催地の魅力的な観光資源の紹介、イベント開催やおもてなしの取り組みについて集中的な宣伝を全国で実施する国内最大規模の観光キャンペーンです。

このキャンペーンに際し当館では、創設者長谷川仁と交友のあった藤田嗣治の展覧会を開催いたします。つきましては展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材等のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■ 開催概要

藤田嗣治の没後 55 年を迎える 2023 年は、彼がはじめて渡仏してから 110 年目の節目の年でもあります。藤田は 1913 年に渡仏して以降、画家として着実に歩み続け、1920 年代には「素晴らしき乳白色」と称される画風を確立してエコール・ド・パリの寵児として名を馳せました。戦後はフランスに帰化して、レオナルド・フジタと改名しています。この度は、藤田の名品の所蔵で知られる平野政吉コレクションをはじめとする国内各地の美術館、及び個人コレクターにご出品をいただき、フランスにおける藤田の作品を中心に展覧いたします。また、茨城県と友好関係を結ぶエソンヌ県(フランス共和国)に関連画像をご提供いただき、藤田が終の棲家としたヴィリエール＝バクルのアトリエや同県の様子についても紹介し、フランスで半生を送った藤田の制作の背景までご覧いただくとするものです。

■ 藤田嗣治とフランス

- 1913年 最初の渡仏。世界中から芸術家が集まるパリのモンパルナスで研鑽を積む。
- 1920年代 乳白色の絵肌と日本の筆を用いた線描による独自の画風を確立。展覧会(サロン)で評判を呼び、画家としての地位を確立する。
- 1930年代 パリを離れて南アメリカや日本などで制作を行う。1933年には東京に定住する。
- 1950年 前年に日本を離れてアメリカに一時的に滞在し、再びパリへと戻り制作を行う。
- 1955年 フランス国籍を取得する。(その後、日本国籍を抹消)
- 1959年 ランスでカトリックの洗礼を受けて「レオナルド・フジタ」となる。
- 1960年 エソンヌ県ヴィリエール＝バクルの一軒家を購入し、住居兼アトリエとして人生最後の8年間を妻とともに過ごす。

■ 展覧会の詳細

- 展覧会名 藤田嗣治展 FOUJITA in Paris & Villiers-le-Bâcle
- 会 期 2023年9月30日(土)～12月17日(日)
- 会 場 笠間日動美術館 企画展示館(茨城県笠間市笠間978-4)
- 主 催 公益財団法人 日動美術財団
- 開館時間 午前9時30分より午後5時(入館受付は4時30分まで)
- 休 館 日 毎週月曜日(10月9日は開館、翌日休館。11月13日(月)は、茨城県民の日の為、笠間日動美術館は開館。春風萬里荘は休館。)
- 入 館 料 大人1300円/65歳以上1000円/大学・高校生900円/中学300円/小学生 無料
20名以上の団体は各200円割引/障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は各半額割引
- 協 力 軽井沢安東美術館/聖徳大学・聖徳大学短期大学部/株式会社テレビ朝日/栃木県立美術館
公益財団法人平野政吉美術財団/目黒区美術館
- 後 援 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ/茨城県/茨城県教育委員会/笠間市
笠間市教育委員会/茨城放送/朝日新聞水戸総局/茨城新聞社/共同通信社水戸支局
産経新聞社水戸支局/東京新聞水戸支局/毎日新聞社水戸支局/読売新聞水戸支局
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社



■ 画像利用について

藤田嗣治の作品や写真の掲載については、担当にお問い合わせください。

http://www.nichido-museum.or.jp/exhibition_next.html

- 掲載可能作品 「家族」1923年、笠間日動美術館蔵
「庭園の子供達」1956年、聖徳大学・聖徳大学短期大学部蔵

出品作品その他 「眠る若い女」1951年 個人蔵 (掲載不可)

■ 会期中のイベント(予定)

・当館学芸員によるギャラリートーク

日時:9月30日(土)／10月28日(土)／11月25日(土) 時間:午後2時(約30分程度)／場所:企画展示館

・館長 長谷川徳七と副館長 長谷川智恵子による対談会

日時:11月18日(土) 時間:午後2時(約1時間程度) 場所:企画展示館2階

・茨城県立笠間陶芸大学校による陶芸作品展示

日時:10月4日(水)-10月9日(月・祝)／場所:分館 春風萬里荘 施設内 長屋門

・分館 春風萬里荘でのイベントを予定。

(※イベントの開催、内容については、変更・中止する場合がございます。予めご了承ください。いずれも参加費無料、要入場料。)

■ 交通案内

●JR 利用

・常磐線友部駅北口(9:50／10:50／11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100 円)

または市内循環バスで約 15 分。「日動美術館入口」下車徒歩 1 分

・水戸線笠間駅より徒歩約 30 分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)『かさま観光周遊バス』または『レンタサイクル』の利用が便利です。

●自動車利用

・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km

・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

■ 次回企画展のお知らせ

「コレクション展(仮)」1月2日(火)～3月17日(日)

(※変更の可能性がございます。予めご了承ください。)

■ 連絡先／担当

公益財団法人日動美術財団 学芸部 学芸部長 金澤 敦子

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-3-16 日動画廊内

電話 03-3571-2553／FAX 03-3289-4446

公益財団法人日動美術財団 学芸部 塚野 卓郎／長谷川 翠

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

電話 0296-72-2160／FAX 0296-72-5655

以上